

# テーマ：自然

池袋第二保育園(豊島区)

## テーマを設定する

保育園の敷地内には「ふくろうの森」「むしむしランド」などがあり、自然豊かな園の特徴を生かしたいという思いがあった。子どもたちは園庭の自然に触れるとともに、水や海の生き物にも興味を持っていたため「自然(海)」をテーマとして設定する。また、日頃から工作を楽しんでいる子が多く、制作も好きなので「造形」をテーマにした。

## 活動 アーティストワークショップ1~4

子どもが入れるサイズの色の箱(水槽)をいくつか用意し、自分たちでつくったものを箱の内側に貼ったり、外側を装飾したり、オリジナルの水族館をつかった。成果発表会では、水族館に在園児を招待し、子どもたちは案内人や制作サポートとして役割を担っていた。

## 環境をデザインする

●準備した物 白板段ボール、カラービニール、クレヨン、油性マジック、はさみ、セロテープ、色紙、毛糸、リボン、カッティングシート、お花紙、モール

## 探究活動を実践する

### ●活動内容(2日目)

1. 天井を色のビニールが覆い、光が透過する6つの色の水槽(段ボール製)がホールに点在
  2. 様々な材料を使って、海の生き物を貼ったり、マジックで直接壁に描いたり、水槽の内部を装飾
  3. 各水槽を訪れて、他の子の作品を鑑賞
- ※1日目は同テーマに基づき、トレーシングペーパーの下に魚の写真を重ねて写し描きをする造形ワークショップを実施。3日目は6つの水槽を合体させて、大きなカラフル水族館をつかった。4日目は0~4歳児クラスを水族館に招待。看板やチケットをつくり、もぎり係や案内人など、それぞれが役割を全うした。

### ●子供たちの様子

- ・作品制作中、毛糸を切ることに苦戦する子の姿が見られたが、友だちが自然に手を貸す場面があった。道具の力だけでなく、子ども同士の助け合いによって課題を乗り越えようとする姿が見られた。
- ・床にカラーペンを走らせ、水面から海底へ光がきらきらと差し込むような表現を生み出していた。水面の色に合わせてペンの色を選び、変えながら描き進める姿があった。
- ・海の生き物や看板、外壁の飾りなどにさまざまな工夫が見られ、子どもたちのこだわりや創作意欲が次々と広がっていった。

## 活動スケジュール(5歳児クラス)

活動内容	実施日	時間/回	人数/回
① アーティストワークショップ1 講師:水内貴英(美術家)	R7.11.12 (水)	60分程度	13人
② アーティストワークショップ2 講師:水内貴英(美術家)	R7.11.14 (金)	60分程度	13人
③ アーティストワークショップ3 講師:水内貴英(美術家)	R8.2.5 (木)	60分程度	13人
④ アーティストワークショップ4 講師:水内貴英(美術家)	R8.2.6 (金)	90分程度	11人
⑤ 水族館チケットづくり	R7.11.17 (月)	60分程度	14人



## 振り返りをふまえた気づき

### ●保育士から

- ・普段は数を制限している素材を十分に用意したことで、イメージが大きく膨らんでいた。子どもたちがより主体的に考え、次々とアイデアを生み出す姿が見られた。
- ・材料を取りに行く際の期待感や、水槽の中に入って発見を楽しむ姿、友だちの作品に刺激を受けて「次はどうするか」と考える様子が見られた。空間と材料という環境構成のみで、子どもたちのイメージが次々と広がっていくことを実感した。